

(一社) 木桶仕込み味噌輸出促進コンソーシアム

木桶仕込み味噌・味噌加工品

基本情報

対象国	米国・フランス・オランダ等	輸出額	約230万円(12月末)	加盟者数	15社
主な販売先	外食、小売	活動地域	全国	品目数	単一
希望スキーム	間接輸出	備考	-		

木桶味噌のブランド確立・輸出拡大を目指し、マーケットイン発想でのプロモーションを実施

輸出を通して国内で希少となりつつある日本の伝統的な味噌製法の「木桶仕込み」で製造・醸造された木桶味噌の価値を海外に伝え、後世に伝承していくため、WEBサイトの構築やインフルエンサーを活用した情報発信等を実施。

団体概要

所在地	東京都渋谷区
設立年	2022年
事業内容	木桶仕込み味噌・味噌加工品のブランド確立・海外販路拡大
認証取得	-
生産規模	約480t



取組の経緯/概要

- ・木桶の減少により存続の危機に瀕している、味噌の伝統的な製造法である木桶仕込みを次世代に継承していくとともに、今後有望市場となる海外への輸出に取り組む事業者が相互に連携し、海外販路の開拓・輸出拡大を進めるために、木桶仕込み味噌メーカー等により設立
- ・メーカー外の人材（料理研究家等・自治体連携事業の経験が豊富）による専任事務局を設置し、一般社団法人化して事業を推進。また栄養学専門の大学教員も参画し、木桶味噌の優れた特性の研究を実施する等、メーカー外人材と連携した推進体制を構築
- ・伝統を重んじ、木桶文化にも親和性が高いEU圏・米国を最初のターゲットとして、木桶仕込み味噌をブランディングする戦略で取組を進めている

取組の成果

- ・輸出額：約80万円（2021年度）→ 約230万円（2022年度12月末）→ 3,000万円（2025年度目標）
- ・HPアクセス数：約5,700PV（2022年度2月末）※2022年12月26日公開
- ・商談成立数：3件（2022年度2月末）

取組のポイント

木桶仕込み味噌の特徴について科学的エビデンスを示すとともに、海外流通業者・消費者への情報発信に注力

輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題

1

木桶味噌は、他容器の味噌と比べ成分等の特徴が確認されているが科学的根拠に欠ける

TASK

課題

2

木桶味噌の情報発信手段がなく、また海外消費者の味噌に関する知識が不足している

TASK

課題

3

コンソーシアムメンバーには輸出経験がない・経験が乏しいメーカーが存在

輸出成功のポイント

木桶仕込み味噌の特徴の研究

大学機関と連携し、木桶味噌の特徴をエビデンスとして示すことで海外市場の消費に繋げる

HP作成等広報体制整備/海外での啓発セミナー

木桶味噌HPを作成するとともに、商品にQRコード貼付し情報提供の導線を確認。また海外での啓発セミナー開催で木桶味噌の認知度向上を図る

輸出促進のための講習会・工場視察実施

専門家によるオンライン講習や、先進メーカーの工場視察等を通し、知識習得・輸出意欲を醸成

サプライチェーン別取組

商談会・シェフ招聘による商品・レシピ開発

- ・ 商談会で得た意見を海外向けの商品開発に反映
- ・ 欧米シェフを招聘し、日本食以外への木桶味噌活用レシピ開発の意見交換を行う

品質維持を目的とした安定的な輸送方法の検討

- ・ 冷凍・冷蔵輸送等に向けた輸出物流実証の実施
- ・ 常温輸送でも品質が維持できる容器・原料・整合等を模索

商談会を中心とした輸出機会の創出

- ・ GFPや日系商社と連携した商談会に積極的に参加
- ・ 海外イベント実施で連携した小売・外食事業者経由での商談機会を新規創出する

商品選定・開発

流通

販売

今後の輸出拡大に向けて

団体を設立して1年目はプロモーションによって認知拡大を目指すことが中心だったが、2年目以降はさらに輸出機会を拡大していきたい。

木桶仕込み味噌というブランドを確立し、希少性やプレミアム感を伝えることで売上に繋げていきたい。